

スウェーデンの核兵器問題

目次

序 鹿島守之助 i

序 文 iii

スウェーデン核兵器問題の安全保障政策上の研究

ロルフ・ビョルナーステッド 一
レンナート・グレープ

安全保障政策の見方の必要性について 三

安全保障政策の手段 七

合理的決定について 一三

| | |
|------------------|----|
| 価値の選択 | 二六 |
| 行動の選択条件の選択 | 二二 |
| 核兵器問題における行動の選択条件 | 二〇 |
| むすびおよびこの著書の内容 | 三 |

スウェーデンの国防に対する核兵器の軍事的意義

クリステル・キルケゴール……………七

| | |
|----|---|
| 序説 | 五 |
|----|---|

核兵器の効果——核戦争と通常兵器による

戦争の差異は奈辺にあるか?……………四

自国の軍事力を核武装するという問題を

いかに把握すべきか?……………四

核兵器の平時および戦時の脅威に際しての

軍事的意義——判定基準と方法論……………四

わが国に対する可能な攻撃方法

および国防遂行の原則……………三

戦術的事態における核兵器の戦闘経済……………五

平和計画および紛争事態における、より大きな関連における

核兵器の軍事的意義

スウェーデンの核武装の場合の企画問題

戦時下における核兵器の軍事的意義

報復兵器としてのスウェーデンの核装備

むすび

国防の選択条件と紛争事態

ステイグ・ニレーン

出発点における価値判断

紛争の端緒

戦争勃発前における紛争の発展

戦争勃発後の発展

むすび

核兵器をめぐる議論と外交

ビョルン・ベックマン

一七

一八

一九

二〇

二五

一〇五

一〇六

一〇九

一一九

一二三

二二五

| | |
|----------------|-----|
| 非同盟と中立 | 一三〇 |
| 軍備制限 | 一三九 |
| 大紛争を予防するその他の措置 | 一四四 |
| むすび | 一四八 |

ヤヌスの両面・スウェーデンの核兵器と世界

インゲマール・デルフェル……………一五三

| | |
|---------------|-----|
| 序論 | 一五五 |
| N国としてのスウェーデン | 一六八 |
| 世界とスウェーデンの核兵器 | 一八三 |
| むすび | 二〇〇 |

原子燃料の国際管理

ヤン・プラヴィツ……………二三五

スウェーデン核兵器計画の技術的・経済的前提

ベングト・アンダーション……………二四三

核兵器……………二四五

核兵器の製造……………二四六

スウェーデンの核兵器計画……………二五五

スウェーデンが核兵器をもつ場合の責任と

管理の問題についての見地

ステイグ・トレン……………二六九

序論……………二七一

核装備決定……………二七二

平時における核兵器の管理……………二七三

戦時における使用決定……………二七六

結論……………二八三

保健上の潜在的危険性と核兵器実験

ロルフ・ビヨルナーステッド……………二六七

潜在的危険性(リスク)についてどのような考え方があるか……………二五二

核兵器実験のリスク……………二五五

スウェーデンの核実験……………二五六

核兵器戦争後の生存の問題

カタリナ・アーンランド……………三〇二

序論……………三〇三

一般的概説……………三〇六

スウェーデンについての結論……………三三七

スウェーデン核兵器に関する世論調査

ステイグ・リンドホルム……………三三七
ラルス・ショーベリ……………三三七

| | |
|-----------|----|
| 序論 | 三九 |
| 調査方法 | 四〇 |
| 調査結果 | 四二 |
| 調査結果の要約 | 四九 |
| 質問事項作成の見地 | 五二 |
| 世論測定の見地 | 五五 |

| | |
|------------|----|
| むすび | 三六 |
| レンナート・グループ | 三六 |